

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第40回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成30年3月27日(火) 午前10時00分～午前11時30分	場所	木津川市役所 5階 全員協議会室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委員	<p>【学識経験者】</p> <p>□中川 大(副会長)、 ■大庭 哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■杉本 美保委員、 □占部 禎佑委員、 ■福本 桂子委員、 ■神野 勝三郎委員、 ■大村 裕信委員、 ■平田 克子委員、 □久保 恭子委員、 ■今西 邦雄委員</p> <p>【事業者】</p> <p>■長澤 卓夫委員、 □森本 治実委員 ■後藤 秀雄委員 ※代理:橋本 倫尚(奈良交通株式会社乗合事業部課長)、 ■津田 秀夫委員 □近藤 智彦委員、 □大江 正泰委員、 □梅田 幹夫委員、 □加藤 隆委員、 ■霜永 勝一委員 ※代理:牧田 佑一(奈良交通労働組合執行委員)</p> <p>【行政機関】</p> <p>■清良井 利之委員 □菅沼 幸江委員、 ■山本 勇人委員、 ■山本 克委員、 ■梅田 学委員 ※代理:馬庭 清(木津警察署交通総務係長) □河井 規子会長、 □田中 達男委員、 □若狭 朝明委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>□安江 亮</p>	
事務局	福島政策監、武田事務局長、奥田事務局次長、富井係長、宮本主任		
傍聴者	2人		
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1)報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況について【資料1】</p> <p>②デマンド路線に係る報告について【資料2】</p> <p>(2)協議事項</p> <p>①平成30年度予算(案)について【資料3】</p> <p>(3)その他</p> <p>①次回協議会の開催日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会の宣言を行い、田中副市長より、委員の任期満了に係るお礼の挨拶があった。</p>		

	<p>協議会規約第6条第2項の規定により、大庭委員が議長に指名された。</p> <p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として福本委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況について 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>②デマンド路線に係る報告について 資料2に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①平成30年度予算(案)について 資料3に基づき、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について 後日通知することとした。</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎議長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況について 【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用実績 【主な意見・質疑等】</p> <p>○：一日フリー乗車券(以下フリー券)の販売実績が順調に推移しているが、さらに効果的なPRを考えてはどうか。販売場所がどこにあるかわからない方も多いため、販売所の増加と案内を進めてほしい。</p> <p>→：フリー券の販売はお金を取り扱う都合上、どの施設にもお願いできるものではないが、公共施設についてはできる限り調整を行い、販売場所の増加につなげていきたい。また、公共交通だよりや時刻表に掲載し、引き続き周知を行っていく。</p> <p>◎：観光利用の方に対しては、バス停やJR・近鉄の駅等に販売場所を案内することが大事である。バス停留所や市内の主要駅である木津駅や加茂駅でフリー券の案内は行っているのか。</p> <p>→：すべてのバス停留所ではないが、フリー券に関する案内の掲載を行っている。また、直接的な案内ではないが、木津駅・加茂駅にはフリー券の販売場所が記載してある時刻表の配架をいただいている。</p> <p>◎：案内の中に、販売場所の地図等を記載すれば、バスの待ち時間に気軽に購入することができ、販売促進につながる。</p> <p>→よりわかりやすい案内を検討していく。</p> <p>○：近鉄山田川駅周辺の販売場所はどこになるのか。</p>

→：山田川駅周辺にフリー券の販売場所はない。近くの施設にお願いに行ったが、手数料の関係等で了承いただけなかった。

◎：ターミナル駅などバスの利用者が多い場所については、販売場所を確保していただきたい。

○：加茂地域のデマンドタクシーを利用して、JR加茂駅から木津駅、きのつバスを利用する際、どの場所でフリー券を購入すればいいのか。

→：デマンドタクシー内でフリー券の販売を行っている。バス車内で購入が可能なことは、事業者にもPRをお願いしていく。

また、木津川市の事業者やお店に協力いただいている「まちかど案内所」が市内に70か所あり、販売を依頼できないかお願いしていきたい。

◎：2月の利用者はきのつバス全線、当尾線を含め、全体的に前年度比で減少となっているが、その要因は。

→：平均的に寒い日が続いたため、外出機会が少なかったと考えられるが、十分な分析はできていない。

◎：減少が続かないよう、十分な取り組みを行うこと。

②デマンド路線に係る報告について

【配布資料】資料2 デマンド路線に係る報告について

【主な意見・質疑等】

○：デマンド路線に変更した路線は利用者が減少しているが、その要因は。

→：定時定路線と比べると利用する際に事前予約が必要なため、少し手間が掛かるとい点が利用者減少の要因の一つと考えている。デマンド路線の利用については、公共交通日より等で継続して周知を行っていく。

○：デマンド路線の台数や乗車可能な人数は。

→：タクシー車両2台で運行しており、予約が多い場合はタクシー車両の追加を行っている。タクシー車両は1台あたり4名まで利用できる。

○：木津川市は人口増加に伴い、税収も増えており、加茂～木津間の新規路線の保留や加茂地域のデマンド化は納得できない部分がある。外出機会の減少は医療費の増加につながり、負のスパイラルに陥る可能性がある。奈良県では奈良交通と連携して「プラチナ定期券」を期間限定で発行し、外出機会の増加・医療費の抑制や運転免許返納を促進している。

【参考：プラチナ定期券】

1乗車100円又は半額で乗車できる高齢者向け割引パスで、65歳以上の奈良県民を対象に、期間及び枚数限定で実験的に販売を行った。（3ヶ月券3,000円）

→：コミバスは、民間事業として成り立たない地域で市民の移動手段を確保する観点から運行しており、そうした地域では少子高齢化等により人口減少となっているのが現状である。また、合併以後、人口増加により、税収が増えているのは事実であるが、扶助費が税収の増加以上に増えており、人口が増えたから財政的に余裕があるということではない。交通弱者の外出機会を確保することは、健康や観光、財産の価値を守ることにつながるが、持続性の観点から長期的な視点で計画をしていかなければならない。

◎：デマンド路線は交通弱者を救う最終手段である。デマンドは不便であり、利用者数の減少は致し方ない部分もある。地域の方にいかに利用していただくか、利用頻度

がどうすれば向上するのか検討し、デマンドからの脱却を目指すことが大事である。

木津川市は多くの国宝を有しており、観光面での需要があるため、いかに観光客を取り込むか考えていくべきである。財政が厳しいから施策を削っていくだけでなく、他に手立てがないか幅広い視点で協議会の中で検討してほしい。

○：加茂地域は人口減少に伴う利用減なのか。

→：平成19年の合併時から現在まで、約15%の人口減少となっており、高齢化率も上がっているのが現状である。

○：加茂地域のバスは加茂駅に集約されているが、合併以後、行政の中心は木津地域である。南加茂台から木津まで結ぶ路線を検討してほしい。

○：南加茂台は人口が6,000人程度、高齢化率も50%に近い。病院や買い物の便が悪く、陸の孤島に近い状態になりつつある。JRや奈良交通と競合する面はあると思うが、住民の要望をもう少し聞いてほしい。

→：南加茂台地域では、奈良交通バスが1日49便運行し、通勤・通学の方が利用されており、地域のひとつの財産だと考えている。デマンド路線も含め、このまま継続していきたい。

○：高齢者の方の病院や買い物で考えるのであれば、コミュニティバスではなく社会福祉の観点から検討する等、アプローチの方向を変えてみたらどうか。

◎：現在おかれている状況について、地域の方がどう考えているか、自治会やワークショップなどを通じ、広く意見を把握した上で、ニーズに可能な限り沿った形で施策を進めていくことも必要である。また、交通のことだけでなく、都市整備・都市空間、社会福祉などを含め、人の移動をトータルで考えていく「モビリティデザイン」の観点から議論をしていくことも大切である。

○：奈良交通では、近鉄奈良駅から南加茂台・加茂駅へバス運行をしている。従前は採算が取れていた路線であるが、近年は高齢化等の影響により、利用者が大幅に減少し、赤字路線となっている。現在の本数で運行できているのは、途中にある梅美台・州見台で利用があるからである。利用者が、近鉄奈良方面に通勤・通学される方から、木津・高の原へ買い物や病院に行かれる方へシフトしているが、一定数は通勤・通学のためご利用いただいております。両方向にバスを走らせるのは難しい。行政で新規路線を走らせると、既存路線に何らかの影響が出てくる。会社として協力できないわけではないが、路線としての余裕がないのが現状であり、ご理解いただきたい。

事例が異なるが、先般、競合する民間路線の影響により、岡山の両備バスが路線廃止届けを出した。過度に行政が民間のエリアに手を出すと事業が成り立たなくなるため、協議会の中で調和をとった上で、施策を進めてほしい。

地域の方にご要望いただくことも多いが、皆さん総論は賛成だが、各論は反対といった形で意見がまとまっていないこともあり、路線の検討は難しい問題である。

(1) 協議事項

①平成30年度予算(案)について

【配布資料】資料3 平成30年度予算(案)について

【主な意見・質疑等】

○：横断幕はどのように使用するのか。

→：公共交通に係る横断幕をJRの駅等に設置し、利用促進を図っていく。

○：ネーミングライツとは。

	<p>→：市内の企業にバス停の命名権募集を行い、掲載料による収入増加を図っていく。応募企業は、名称や場所の周知及び地域社会貢献によるイメージアップ効果が期待できる。</p> <p>○：主要な観光施設への案内を記載した時刻表を作成したらどうか。</p> <p>→：時刻表は、木津川市民に配布することを考慮し、このような内容になっている。観光客向けのチラシやパンフレットも作成しており、引き続きわかりやすい情報を掲載していきたい。</p> <p>◎：時刻表は配布にとどめるだけでなく、配布した後どう使ってもらえるかを考える必要がある。時刻表の見方やどんな内容が記載されているのか、ワークショップ等を通じて啓発することも利用促進のひとつである。</p> <p>○：平成30年度のワークショップ開催地域は。</p> <p>→：具体的な地域は決まっていないが、ネーミングライツに募集した企業を対象にワークショップを行っていく。</p> <p>○：城山台地域にコミバスを運行する予定は。</p> <p>→：民間路線が運行しており、現状では城山台地域にコミバスを運行する予定はない。</p> <p>○：公共交通だよりも地味である。見栄えのいい、利用者に読んでもらえる紙面に変更したらどうか。</p> <p>また、将来的に免許返納を検討しながらもなかなか踏みきれない高齢者もおり、ワークショップに賛同してくれる老人クラブを探している。テストケースでもかまわないため、ぜひワークショップを開催してほしい。</p> <p>→：非常にありがたいご意見であり、お声があれば喜んで説明に伺う。また、公共交通よりは発行するのを目的としているのではなく、読んでいただくことが大切であり、よりわかりやすい紙面を検討していきたい。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について</p> <p>6月中を目途に事務局で調整し、改めて通知させていただく。</p> <p>②その他（加茂～亀山間）</p> <p>○：関西本線の車内でICカードを利用できるようにしてほしい。</p> <p>○：沿線の市町村から同様の要望を受けているが、具体的な内容は決まっていないが、将来的にはIC化に向かっていくのではないかと考えている。</p> <p>3. 閉 会</p> <p>以上。</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>なし。</p>